

## 2014.7 槍ヶ岳山行記録

記 鳥切昇治



山 域:北アルプス 槍ヶ岳(3180m)

槍ヶ岳山荘から槍ヶ岳

期 日:2014年7月27日(木)~7月30日(金)

メンバー:鳥切 昇治(74才)・須美子

7月27日(日) 天候:晴・曇(雷雨) 自宅~新穂高

以前宿泊した民宿に予約の電話を入れたら満室で断られ、車の中かテントで寝る準備をして自宅を出発する。厚木市内で渋滞にはまり、厚木市内を抜けてから今度は激しい雷雨に見舞われる。中央道は夏休みのせいか車が多い。SAの混雑を避けて境川PAで休憩、順調に走り松本ICを出る。夕食を食べる所を探しながら、明日の朝食と行動食を買おうとスーパーマーケットを探すが無い。ソバ屋さんは、どう言う訳か分からないがどこも閉っている。新島々のコンビニで朝食と行動食を確保したが夕食にありつけない。沢渡に来てようやく食堂を見付け食べる事が出来た。ここも閉店間際だった。今日は、大雨が降って登山者の下山が早く食堂も賑わったそうだ。

新穂高の駐車場は日曜日とあって満車に近い状態だった。寝るのに良い場所が見つかり車中泊に決める。車を変えてから初めての車中泊である。寝る場所を整える。二人が横になって十分なスペースがありゆっくり休めそうだ。

コースタイム

自宅 13:54~16:05 相模湖IC~(中央自動車道)~16:01 境川PA16:55~松本IC17:58~19:10 沢渡 19:42~20:20 新穂高(泊)

## 7月28日(月) 天候:晴・曇 新穂高～槍平小屋

車中泊にしては快適に寝られた。天気は良い。車の中で朝食を食べ出発。登山指導センターで計画書を提出し、蒲田川右俣林道に入る。林道は木陰が多く早朝なので涼しい。穂高平小屋は営業していた。林道終点の白出沢出合は砂防工事が行われていた。

白出沢出合から山道に入り、滝谷出合まで針葉樹林の中を歩く。涼しく、汗もかかずに歩く。槍平小屋が近くなって灌木帯となり暑くなる。順調に槍平小屋に到着。



順調に槍平小屋に到着



滝谷出合から滝谷を見上げる 右はドームかな

下山者は結構多かった。宿泊手続きをすると、60才以上は小屋内で使える500円のサービス券がもらえ、ラッキーだった。小屋前のウッドデッキで昼食とコーヒーを飲み、疲れを癒す。昨日はかなりの雨が降ったようだ。

時間が早かったので一人で奥丸山へ登る。以前登れなかった山だ。キャンプ場を突っ切り、川を渡って樹林の中を登る。途中、2パーティーに会う。ザックを見ると中崎尾根を下って来た感じだ。中崎尾根分岐から尾根筋を奥丸山へ向う。今迄見なかった高山植物のチングルマ、ハクサンチドリ、キスゲ、ヨツバシオガマ等が色鮮やかに迎えてく



奥丸山山頂からガスの中に槍ヶ岳



ガスの切れ間に槍ヶ岳

れた。奥丸山の標高は2440m。360°の眺望が楽しめる筈だが生憎とガスが掛って見えない。とりわけ滝谷が正面に見える筈なのだが... 残念。ガスの切れ間に槍ヶ岳、北穂が顔を出す程度だった。15分程いて下山する。

キャンプ場には結構テントが張られていた。槍平小屋は2010年5月に来た時、奥丸山側からの雪崩で壊れていたが、修理されていた。小屋はきれいで、空いていてゆっくり休めた。布団が干してあって気持ち良かった。

コースタイム

駐車場 7:07～新穂高ロープウエー7:22～9:10 白出沢出合 9:20～10:48 滝谷出合 10:52～11:50 槍平小屋(泊)  
槍平小屋 13:48～14:33 中崎尾根分岐～14:45 奥丸山 15:00～15:50 槍平小屋

## 7月29日(火) 天候:晴 槍平小屋～槍ヶ岳～双六小屋

朝食が5時半と遅い為直ぐに出られるようにして、朝食後小屋を出発。飛騨沢を登る。朝露に濡れた道は涼しい。千丈乗越分岐迄登って来た。陽が射して来て暑く感じる。ハクサンイチゲのお花畑に癒される。どう言う訳か飛騨沢はハクサンイチゲばかりが目につく。飛騨沢上部はガラ場のジグザグ道。振り返ると笠ヶ岳が正面に見え、飛騨



登って来た飛騨沢を見下ろす 左奥は笠ヶ岳



飛騨沢上部のガラ場のジグザグ道を登る

沢カールの右側が緑の絨毯の様に広がる。2010年5月にこの飛騨沢をスキーで滑った記憶が蘇る。この急斜面を良く滑ったものだと思う。飛騨乗越に到着。槍ヶ岳と槍沢を眺める。あと少しと相棒を励まし、稜線を登る。程なく槍ヶ岳山荘に着いた。時計を見ると槍平小屋から3時間半で登って来たことになる。

槍ヶ岳を見ると登っている人が少ない。これから先、槍ヶ岳山頂にいつ登れるか分からないので二人で山頂に向う。最後の垂直の鉄梯子を登ると山頂に着き、360°の眺望が待っていた。眺望を楽しんだ後、写真を撮って



飛騨乗越に到着 後方は槍ヶ岳



槍ヶ岳山頂で記念撮影

下る。槍ヶ岳山荘に戻り、時間的に十分双六小屋まで行けそうである。相談の結果、双六小屋まで行くことにする。

急なガラ場を注意して下る。千丈乗越から振り返ると槍ヶ岳から結構下って来た。千丈乗越から鎖場のトラバ



槍ヶ岳山頂から穂高を望む

ースが続き慎重に通過する。風が結構強い。槍から続く北鎌尾根の眺めが良い。槍も天を突いている。



西鎌尾根のお花畑 中央奥は鷲羽岳



槍ヶ岳が次第に遠くなって来た

分とあるのに...と疑問を感じつつマイペースで歩を進める。硫黄乗越に着いて縦沢岳迄まだ結構あるな、相棒は大丈夫かな、と心配になる。硫黄尾根は茶色



ヤレヤレようやく縦沢岳の山頂

しばらく下ってようやく双六小屋が見えて来た。双六小屋の周辺にいる人やキャンプ地のテントも少ない。

長い一日が終り相棒と握手を交わす。オツカレサマ。

＊夕食後外に出ると老婦人が単独で小屋に着いた。17時を過ぎて小屋に入って来る人も居る。我々が布団に入り休んでいる頃到着する人もいる。都会の時間感覚で山に登るのだろうか？こういう人達の装備は大丈夫なのだろうか。これからも遭難事故は無くならないだろうと思う。最近の登山者は山の怖さをもっと知るべきだ。

コースタイム

槍平小屋 6:02～7:50 千丈乗越分岐～9:22 飛騨乗越～9:37 槍ヶ岳山荘 9:48～10:10 槍ヶ岳 10:15～10:35 槍ヶ岳山荘 10:52～11:42 千丈乗越～13:12 左俣乗越～14:55 縦沢岳～15:23 双六小屋(泊)

左俣乗越に着いて標識を見ると「双六小屋 3H」と書いてある。地図のコースタイムでは千丈乗越から2時間50

色の地肌を見せ、植物が生えていない所を見ると酸性度が高いのか？

雲が大分上空に広がって来た。雨が降る前に何とか着きたい。縦沢岳の登りは最後の登りだよ、と相棒に言い聞かせる。傾斜が緩くなり縦沢岳の山頂に15時前に着いた。双六小屋は見えないが後は下るだけだ。双六岳はガスで見えない。



硫黄乗越の標識は双六小屋 2H



双六小屋が見えて来た

7月30日(水) 天候:晴 双六小屋～鏡平～新穂高～自宅

双六小屋の朝食は4時半からと早い。有難いが4時になると騒々しい。仕方なく4時半に起きて朝食を摂る。予定より早く小屋を出発、花見平に向う。快晴。尾根筋まで登ると左側から光線が射して、槍、穂高の黒々としたシルエットが見える。この季節の花見平のお花畑は素晴らしい。シナノキンバイ、ハクサンイチゲ等が咲き誇っている。山々を眺めながら何時までも居たい場所である。弓



花見平のお花畑(シナノキンバイ、ハクサンイチゲ) 後方は鷲羽岳(右)・水晶岳(左)



鏡池に写る槍ヶ岳～南岳

折岳分岐から鏡平へ下る。ここは何時も暑い所だが早朝なので左程暑さを感じない。登って来る人が多い。鏡平で池に写る槍ヶ岳の写真を撮る。

長い暑い小池新道を下る。相棒が筋肉痛で足がピリピリすると言う。先頭を歩かせマイペースで下らせる。秩父沢の水場で一息入れ、もう一頑張りとして降り始める。左俣林道まで下りて来た。この林道も暑い。わさび平小屋で休憩して林道を新穂高まで歩く。風穴が涼しかった。新穂高ロープウエーに抜ける遊歩道が近道であったが、駐車場まで行くには遠回りの様にした。無事駐車場に辿り着いた。相棒、お疲れ様でした。

駐車場は今日も満車に近い状態だ。

《帰路》平湯の「ひらゆの森」まで行き汗を流す。昼食にそばを食べ帰路に着く。順調に松本ICに入り、諏訪湖SAで渴いたのを潤す。高速道路情報で大月～小仏トンネルまで断続的に渋滞しているとのこと。談合坂SAを通過するまで順調に流れたので大丈夫と思ったら、上野原手前から渋滞に入り相模湖ICまでノロノロだった。相模湖ICを出てからは、厚木の戸沢橋付近の渋滞だけで無事自宅に帰り着いた。

コースタイム

双六小屋 5:42～6:35 花見平 6:43～6:58 弓折岳分岐～7:33 鏡平 7:43～9:03 水場 9:12～10:15 わさび平小屋 10:30～11:38 新穂高ロープウエー～11:51 新穂高駐車場

新穂高 12:08～12:25 ひらゆの森 14:06～15:18 松本IC～15:38 諏訪湖SA 15:57～相模湖IC 17:41～20:02 自宅  
以上